

地震防災カルタの制作について

(公社) 日本技術士会近畿本部 (登録) 防災研究会

防災研究会では地域貢献の一環として、地域が開催する防災学習や防災訓練の企画・運営・技術指導を行っている。特に将来を担う子ども達の防災意識の向上が大切であるとの考えから、地域自治会が主催する親子防災訓練や、小学校が開催する防災学習などにも取り組んでいる。子ども達を対象とした防災学習では、遊びの要素を含めて、子ども達が興味を持って学べるような工夫が大切である。そのための防災学習ツールとして、①防災クイズ、②防災紙芝居、③体験学習グッズなどを準備する必要がある。そこで今回、子ども達が遊びの中で、防災に関する重要なキーワードを自然と覚えられるように「地震防災カルタ」を制作することにした。



カルタは読札と取り札（絵札）を作成する必要があるが、読札の内容は、防災研究会の防災学習ワーキンググループで検討し作成した。読札の裏面には、表面のキーワードの説明を詳細に記載し、詳しく学習できるように配慮した。

あ	歩いてみよう、避難所までの安全確認	た	耐震性能、確認してね	ま	まずは自分の命を守る
い	171は災害伝言ダイヤル	ち	地図で確認、危険箇所	み	水がない、食事もトイレも大変だ
う	運転中、地震が来たら路肩に停車	つ	津波がくるぞ、高台へ	む	無理しない、人命救助は複数で
え	液状化、地面が割れて水びたし	て	手伝って、災害復旧ボランティア	め	めちゃくちゃに、壊れた家が火事になる
お	恐ろしい、地震津波がやってくる	と	隣近所に声かけあって	も	もう一度、非常食を確かめよう
か	家具の固定で、身の安全	な	南海地震がやってくる	や	屋根がわら、地震の揺れで落ちてくる
き	帰宅対策、事前に訓練	に	逃げるとき、行先書きいて、玄関へ	ゆ	揺れて大変、高層マンション
く	訓練は、継続してこそ役に立つ	ぬ	濡れぬよう、防災グッズに雨合羽	よ	余震がくるぞ、気をつけよう
け	消します、切ります、ブレーカー	ね	寝るときは、ベットの位置を考えよう	ら	楽々みんなで、避難所づくり
こ	声かけて、みんなで逃げよう、おお急ぎ	の	飲み水を備蓄するのを忘れずに	り	リスクを下げよう、普段からの備え
さ	災害は忘れた頃にやってくる	は	ハザードマップで安全対策	る	ルールを決めよう町会で
し	初期消火、すばやい実行、火の用心	ひ	非常食、みんなで備えを3日分	れ	連絡とるには「171」
す	筋交いは、家の安全、身の安全	ふ	ふだんから、顔の見えるお付き合い	ろ	老朽家屋も耐震補強で安全に
せ	世話をする、一人で逃げられぬ、お年寄り	へ	塀がゆれ、倒れてくるぞ、離れよう	わ	私にも、みんなとできる防災活動
そ	備えあう、みんなで一緒に備蓄品	ほ	ほっとした、家族全員、無事確認		

取り札（絵札）の絵は、堺市立鳳中学校の美術部に依頼した。美術部の所属生徒数は約40名であったので一人1枚を担当し、各自が描いた絵札は個人の特徴が表現されており、こどもらしい内容となっている。



地震防災カルタを楽しむ児童

カルタは防災研究会のホームページからダウンロードして自由に利用できるのも、是非、防災学習のツールとして利用して頂きたい。

防災研究会ホームページ：<http://www.ipej-knk-bosai.jp/index.html>

(文責：南側晃一)